

C型慢性肝炎の二重濾過血漿交換療法

二重濾過血漿交換療法(DFPP)によるウイルス除去療法

平成20年4月より二重濾過血漿交換療法(DFPP)を用いたウイルス除去療法が保険適応となり、インターフェロン療法と組み合わせることでさらに治療効果が高くなることが期待されます。


その二重濾過血漿交換療法(DFPP)によるウイルス除去療法を当院でも開始しました！！

※「二重濾過血漿交換療法(DFPP)」についてより詳しく知りたい方は、[『VRAD 日本発！C型慢性肝炎のウイルス除去療法』](#)をご覧ください。

〈保険適応条件〉

- ウイルスのタイプがセログループ1(あるいはジェノタイプII(1b))型の慢性C型肝炎で、直近のインターフェロン療法を施行した後にHCV RNA量が100kIU/ml(5LogIU/ml)以上の方。
- 最大5回まで適応。

〈治療スケジュール〉

治療日	1日目	2日目	...	4又は5日目	...	8日目	9日目
二重濾過血漿交換療法							
ペグインターフェロン	1本目					2本目	

※画像をクリックすると拡大表示されます。もう一度クリックすると元の大きさに戻ります。

ウイルス除去療法でウイルスを除去するので、インターフェロン療法のみよりも早くウイルスが減少し、インターフェロン療法の治療効果(著効率)がUPします。詳しい内容は肝臓専門医にご相談下さい。

肝臓専門医・指導医 森田恭代、長田英輔